

平成29年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/> 評価対象 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了事業 <input type="checkbox"/> ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>		担当者 山岸良浩 経費区分 ー 内線 3781
全体計画			
事務事業名	4342 消防施設管理事業		
所 属	450100 消防本部・消防本部・消防署		
施 策	03021400 消防・救急体制の充実		
予算 科目	会計	01 一般会計	
	科目	090103 消防費・消防費・消防施設費	
	事業	010000 消防施設管理事業	
事業目的		事業概要・効果	
消防施設を適正に維持管理し、災害時の対応に万全を期する		<ul style="list-style-type: none"> ・ 経年老朽する施設の改修 ・ 既存施設の活動向上のための改修 ・ 地上式消火栓の設置及び維持管理 	

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
<ul style="list-style-type: none"> ・ 既設防火水槽の改修 ・ 消防団活動の安全管理の向上 ・ 地上式消火栓の設置及び維持管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消防施設修繕 ・ 地上式消火栓の設置及び維持管理
平成29年度 予定	平成30年度 予定
<ul style="list-style-type: none"> ・ 既設防火水槽の改修 ・ 消防団活動の安全管理の向上 ・ 地上式消火栓の設置及び維持管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既設防火水槽の改修 ・ 消防団活動の安全管理の向上 ・ 地上式消火栓の設置及び維持管理
平成31年度 予定	平成32年度 予定

指標名	出火率の減少				
算式	-				
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標	-	-		
	実績	-			
指標選定の理由	-				
最終年度目標の根拠	-				
指標名					
算式					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成28年度 決 算	平成29年度 予 算
事業費		54,345	24,256
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		54,345	24,256
人員数(人)	正規職員	0.6	0.6
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	4,331.4	4,331.4
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	4,331.4	4,331.4
市民一人当たりの経費		1.1	0.5
総額		58,676.4	28,587.4

(単位：千円)

平成28年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	1,634	消防団機械器具置場修繕 消防本部庁舎施設修繕
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	30,780	消防指令装置改修工事(繰越)
19節 負担金補助及び交付金	21,637	消火栓設置・維持管理費
その他	294	借上料

(単位：千円)

平成29年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	1,300	施設修繕 防火水槽（蓋、内壁）改修
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	21,796	消火栓の設置、維持管理費
その他	1,160	借上料、火の見半鐘打鳴装置購入

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	消防水利の整備充実に必要 経年により劣化している消防団機械器具置場を修繕、また地上で半鐘を打鳴できる装置を購入し消防団活動の安全を図る	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	地上式消火栓を整備することにより視認性・操作性が向上 操作が容易な地上式消火栓の設置を進め、自主防災組織での初期消火体制に有効 地上で半鐘を打鳴でき安全性が向上	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	水道事業者の工事に併せ消火栓を設置し、費用の効率化を図る	

振り返り（決算年度の取組み課題）
関係部局との連携維持 既施設を維持管理する 半鐘打鳴装置の継続設置

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
既設の機械器具置場を修繕し機能維持が図れた。 水道事業工事等に併せて消火栓を設置し、費用の効率化が図れた。		消防施設・設備の維持管理を行い、消火栓は水道工事に合わせて地上化することを継続する。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	